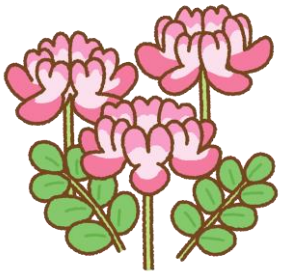
令和６年度（第１期）
東京都子育て支援員研修
地域保育コース
募集要項

◆地域型保育

小規模保育事業（保育従事者）
家庭的保育事業（家庭的保育補助者）
事業所内保育事業（保育従事者）



◆一時預かり事業

（保育従事者）

【申込受付期間】

令和６年４月１日（月）～令和６年４月１５日（月）

【申込方法】

当財団ホームページのオンライン申込フォーム（外部サイト）からお申込みください。
※お申込みの際には、当財団ホームページ掲載の「オンライン申込の注意事項」を必ずご確認ください。

URL：https://www.fukushizaidan.jp/111kosodateshien/

※インターネット環境が無い方は、郵送申込を受付します。
※受講申込書に必要事項を記入の上、【簡易書留】で郵送してください（当日消印有効）。

【申込結果の通知】　令和６年５月末までに郵送（予定）

＊＊子育て支援員研修コース内容及び体系について＊＊

●この募集要項の該当コースは、［　　］で囲んでいる箇所です。

◉コースの種類と概要

地域保育コース	「子ども・子育て支援新制度」によって地域型保育として位置づけられた小規模保育、家庭的保育（保育ママ）、事業所内保育や一時預かりの保育従事者として勤務する方向けのコースです。
地域子育て支援コース	地域子育て支援拠点（公共施設等の身近な場所で子育て中の親子の交流や育児相談、育児に関する情報提供を行う場）や、利用者支援事業（子育てひろばや子供家庭支援センター等で利用者支援を実施）で勤務する方向けのコースです。
放課後児童コース	学童クラブ（保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等に適切な遊びや生活の場を提供する場）に従事する放課後児童支援員の補助者として、勤務する方向けのコースです。
社会的養護コース	社会的養護（保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育・保護し、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うこと）における補助的な支援者として、児童養護施設等で勤務する方向けのコースです。

◉研修の体系

分野			事業内容	基本研修	専門研修	
地域保育コース	地域型保育	小規模保育事業（保育従事者）	定員６～19人の少人数の子供を対象に、家庭的な雰囲気のもとで、きめ細やかな保育を行う事業です。		（共通科目）11科目・15時間	6科目・6.5時間＋2日
		家庭的保育事業（家庭的保育補助者）	保育者の居宅やその他の場所等において、少人数（定員５人以下）を対象に、より家庭的な雰囲気のもとで、きめ細やかな保育を行う事業です。			
		事業所内保育事業（保育従事者）	会社の事業所の保育施設等で、その会社の従業員の子供や地域の子供の保育を行う事業です。			
	一時預かり事業（保育従事者）		家庭において保育を受けることが一時的に困難になった子供について、保育施設等において一時的に預かり、必要な保護を行う事業です。			6科目・6.5時間＋2日
地域子育て支援コース	利用者支援事業・基本型（専任職員）		子育て家庭のニーズを把握し、様々な情報提供や、相談等の支援を行うと同時に、地域の関係機関との連携や協働の体制づくりを行う事業です。	8科目・8時間	9科目・16時間＋1日	
	利用者支援事業・特定型（専任職員）		子育て家庭のニーズを把握し、地域の保育施設の情報提供や、相談等の支援を行う事業です。		5科目・5.5時間	
	地域子育て支援拠点事業（専任職員）		公共施設等の身近な場所で、子育てについての相談や情報提供、その他の援助を行ったり、親子の交流の場を設けたりすることで、地域の子育て支援機能の充実を図る事業です。		6科目・6時間	
放課後児童コース	放課後児童クラブ（補助員）		保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等に適切な遊びや生活の場を提供する事業です。		6科目・9時間	
社会的養護コース	乳児院・児童養護施設等（補助的職員）		保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育・保護し、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行います。		9科目・11時間	

※令和６年度東京都子育て支援員研修において、公益財団法人東京都福祉保健財団が東京都より委託を受けて実施するのは、上記図枠内の【地域保育コース（地域型保育、一時預かり事業）】です。

※他のコースについては、東京都福祉局ホームページをご参照ください。

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kodomo//katei/kosodateshieninkensyuu01.html

令和６年度（第１期）東京都子育て支援員研修
【地域保育コース】募集要項

１　目的

「子ども・子育て支援制度」においては、小規模保育、家庭的保育等の地域型保育や、地域子ども・子育て支援事業等の担い手となる人材が求められています。本研修は、地域で保育や子育て支援分野の各事業等に従事することを希望する方、又は従事している方を対象に、必要な知識や技能等を修得した『子育て支援員』を養成することを目的に実施しています。

２　対象者

本コースは、以下の条件を満たす方を対象としたコースです。

（１）都内に在住、在勤又は在学の方

（２）地域において保育や子育て支援等の仕事に関心を持ち、都内において、**地域型保育（小規模保育や家庭的保育、事業所内保育）や一時預かり事業等の保育従事者**として従事することを希望する方

３　実施主体

東京都

※公益財団法人東京都福祉保健財団（以下「財団」という。）が、東京都より委託を受けて実施します。

４　実施方法

本研修は、オンライン形式を原則として実施します（以下**「オンラインクラス」**という。）。

オンラインクラスは、Zoom を使用したライブ配信で行います。ただし、実技（心肺蘇生法）や演習を含む一部の科目は集合形式、見学実習は地域型保育施設等で行います。オンラインクラスの各科目の研修方法は、「別表１　子育て支援員研修カリキュラム【地域保育コース】」（12 ページから 17 ページ）で確認してください。

また、インターネット環境がない方を対象に、全日程を集合形式で行うクラス（以下**「集合クラス」**という。）も実施します。ただし、会場に限りがありますので、積極的にオンラインクラスによる受講をご検討ください。

※申込時に、オンラインクラス、集合クラスのどちらか一方をお選びください。

※今年度の集合クラスは第１期のみ開講します。第２期及び第３期は原則としてオンデマンド形式による研修（但し演習、実技、見学実習は集合形式で行います。）のみの開催となり、集合クラスの用意がありませんので、集合クラスによる受講をご検討の方は第１期でお申込みください。

オンラインクラス

（１）受講の流れ

①お申込み前に、お持ちの機器やネットワーク環境をご確認ください。（11 ページ参照）

②Zoom の受講手順は、受講決定時にお知らせします。

③受講決定者を対象に、受講前に事前接続テストを実施し、基本的な操作方法を確認します。

事前接続テストの日程は、受講決定時にお知らせします。

各自で機器・ネットワーク環境を確認 → 申込（4月1日～15日） → 受講決定（5月下旬） → 事前接続テスト → 基本研修受講（オンライン形式） → 専門研修受講（オンライン・集合形式・実技） → 見学実習（保育所等）

（２）受講に準備いただくもの

①パソコン等のインターネットに接続できる端末

※端末は一人一台ご用意ください。

※タブレット、スマートフォンでも視聴可能ですが、講義の際は画面に資料を表示しますので、パソコンでの視聴を推奨します。

②Ｗｅｂカメラ・マイク（パソコン等に内蔵されている場合は不要です。）

③Ｚｏｏｍアプリ

※スマートフォンの場合は、事前に Zoom アプリのダウンロードが必要です。
パソコンの場合は、アプリを使用しなくても受講も可能ですが、
セキュリティや接続状況に問題が生じる可能性があるので、アプリの使用を推奨します。
アプリのダウンロードは　https://zoom.us/download　（Zoom ダウンロードセンター）

※下記ＵＲＬより、申込前に各自で接続テストを行い、視聴状況を確認してください。
Zoom テスト（Zoom 接続テスト）　https://zoom.us/test

④有線ＬＡＮや Wi-Fi 等、研修映像を受信するための通信設備

※推奨ＯＳ・ブラウザ等については、11 ページ「21（参考）オンライン形式における推奨環境について」をご確認ください。

※研修映像の視聴には大量の通信が発生しますので、Wi-Fi 環境など、容量制限が発生しない環境での受講を推奨します。

（３）Ｚｏｏｍ使用にあたっての注意点

Zoom 規約をお読みいただき、同意をした上でご受講ください。Zoom サービス利用時の損害、損失について、東京都及び財団は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

（４）受講時の注意点

本研修では、画面上で受講状況を確認するため、受講者側のカメラを常にオンにした状態での受講が必要です。そのため、受講者全員の情報（お名前（フリガナ）・画像・受講番号）が、研修中に共有されることに同意の上、お申込みください。

集合クラス

集合クラスを受講する方は、各研修日に指定の会場にお越しいただきます。詳細は、受講決定の際にお知らせします。

５　参加費用

研修の参加費用は無料です。

ただし、会場への往復の交通費、昼食代、Zoom 使用のための物品費用及び通信費用は自己負担となります。

また、『専門研修』では以下の費用が自己負担でかかります。

項　　目	費　用
指定テキスト「地域型保育の基本と実践（第２版）」	3,080 円（税込）
実技（心肺蘇生法）の教材費（テキスト・マウスピース代）	1,500 円（税込）
見学実習で必要になる抗体検査等 （区市町村により検査項目が異なります。）	3,000 円～15,000 円

※詳細は受講決定後にお知らせします。

６　カリキュラム（研修内容）

「別表１　子育て支援員研修カリキュラム【地域保育コース】」のとおり（12 ページから 17 ページ）。カリキュラムは、全コース共通の「基本研修」とコース別の「専門研修」で構成され、地域保育コースは、次の２分野に分かれています。

（１）地域型保育

（２）一時預かり事業

※『基本研修』の修了が、『専門研修』受講の条件となります。

※地域保育コース以外のカリキュラムは、東京都福祉局のホームページをご覧ください。

７　日程及び会場

「別表２　子育て支援員研修日程【地域保育コース】」のとおり。

全日程出席可能なクラスを選び、お申し込みください。

※オンラインクラスは 18 ページ、集合クラスは 19 ページを参照してください。

８　心肺蘇生法

この科目は、東京都子育て支援員研修用として乳幼児を対象とした内容が含まれる講習となっています。本研修の修了に必要な科目のため、いかなる資格、認定をすでにお持ちであっても受講が必要です。

教材費は自己負担ですが、あらかじめ指定された教材（テキスト、マウスピース）を持参できる場合、費用はかかりません。ただし、令和４年１２月にテキストが「ガイドライン 2020 対応」に改訂されたため、「ガイドライン 2015 対応」のテキストは使用できませんのでご注意ください。

※この科目は、全クラス集合形式で行います。

９　見学実習

講義のほかに見学実習（平日の２日間）の受講が必要です。見学実習は、実際に保育事業所に行って受講していただくものになります。（16 ページ又は 17 ページ参照）。

（１）見学実習先について

下記①～③の選択肢の中から１つを選んでください（**申込書提出後は変更不可**）。

なお、事務局で用意する見学実習先（下記①又は②）については、受入枠に限りがあるため、受入枠を超過した申込みがあった場合は抽選となります。

区分	①住所地にある保育事業所	②勤務地にある保育事業所	③ご自身で確保した保育事業所
選択できる条件	申込者の住所が都内にある場合、**住所地**の区市町村が指定	申込者の勤務地が都内にある場合、**勤務地**の区市町村が指定	申込時点で以下の条件（ａ～ｃ）をすべて満たす保育事業所を自ら選択 **ａ　都内に所在のある事業所** **ｂ　見学実習先が下記に指定された事業種別であること** **ｃ　受入事業所が作成した「見学実習受入同意書」を提出できること**
事業種別	**小規模保育、家庭的保育（国制度）、事業所内保育、認可保育所（０～２歳児クラス）、認定こども園（０～２歳児クラス）** ※上記以外の保育事業所は実習先として認められません（例：東京都認証保育所、企業主導型保育所、認可外保育施設、家庭的保育（都制度）等）		
抽選に外れた場合	見学実習に代わる対応（見学実習と同程度の内容を担保した講義・演習を受講（平日２日間を予定。９月頃を予定）		
実習日	実習受入期間内の平日の２日間　１日 原則８時間（休憩時間を除く）		
	区市町村から指定された日程		自ら見学実習先と実習日を調整

（２）見学実習先選択に当たっての注意事項

① **受講決定後の見学実習先の変更はできませんので、十分に調整の上、お申込みください。**

② 申込時に選択した実習先区分が選択できる条件に合致していない場合は、条件に合致した実習先区分に変更して実習先を手配しますのでご了承ください。

③ 上記以外の事業種別（東京都認証保育所、企業主導型保育所、認可外保育施設、家庭的保育（都制度）等）は見学実習先として認められません。

実習を行う保育事業所の事業種別を確認する際、以下のホームページ又は各区市町村のホームページを参考にしてください。ご不明な方は事務局にご相談ください。

・とうきょう福祉ナビゲーション：
https://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/

・子ども・子育て支援情報公表システム「ここ de サーチ」：
https://www.wam.go.jp/kokodesearch/ANN010100E00.do

【福ナビ】　【ここ de サーチ】

④　勤務先保育事業所は、見学実習先保育事業所に指定できません。勤務先法人等が経営する別の対象施設（東京都内）での実施は可能です。勤務日以外の日程で行ってください。既に保育所等に勤務されている方は、可能な限りご自身で見学実習先を確保していただくよう、ご協力をお願いします。

⑤　見学実習受入同意書の内容に不備がある場合には、【③ ご自身で確保した保育事業所】の選択は無効となりますので、ご注意ください。

⑥　土日を含む日程で開催するクラスであっても、見学実習は平日での実施になります（土・日・祝日の実施は不可）。クラスごとの見学実習実施期間は、「別表２　子育て支援員研修日程【地域保育コース】」の『見学実習』欄（オンラインクラスは 18 ページ、集合クラスは 19 ページ）を参照してください。

（３）見学実習にあたり必要となる検査等について

見学実習にあたり、見学実習を行う予定の事業所所在地（東京都内）の区市町村が指定する検査を受診していただく必要があります。検査費用は自己負担です（3,000 円～15,000 円程度）。検査結果は、見学実習当日に見学実習先に提出してください。

※「必要となる検査等」とは、細菌検査（検便）、結核検査（胸部Ｘ線）、麻疹・風疹の予防接種や抗体検査などで、区市町村が指定するものです。

※「見学実習先」及び「必要となる検査等」等の詳細については受講決定後に申込者本人にお知らせします。

（４）見学実習に関する注意事項

見学実習に参加する場合は、以下の『見学実習に関する注意事項』の遵守をお願いします。

①　実習先事業所の定める諸規則・心得等を順守し、実習先事業所職員の指示に従って、見学実習等を誠実に履行すること。

②　見学実習中及び見学実習後において、実習等において知り得た個人情報等及び法人等機密情報を第三者に漏えいしないこと。その他、実習先事業所に不利益となることはしないこと。

③　見学実習で作成するレポートには、実習先事業所の児童やその保護者の個人名や個人に関する情報は記載しないこと。

④　見学実習において事故が発生した場合は、その状況が研修実施機関である財団に報告され、財団より東京都へ連絡の上、必要な措置を講じることを了承していること。

10　確認テスト

基本研修及び専門研修にて研修の習熟度を確認するため、確認テストを実施します。

11　受講申込の受付期間及び方法

（１）申込受付期間　**令和６年４月１日（月曜日）～４月１５日（月曜日）**　**※消印有効**

※４月１５日を過ぎた場合は**無効**となりますのでご注意ください。

（２）申込方法

オンライン申込フォーム（外部サイト）もしくは**郵送申込**

※受講決定後はクラスや研修日程、受講形式の変更はできません。

オンライン申込

財団ホームページ（https://www.fukushizaidan.jp/111kosodateshien/）よりお申し込みください（申込期限：４月１５日（月曜日）２３時５９分まで）。

＜注意事項＞

【財団HP】

①**ホームページに記載の「オンライン申込の注意事項」を必ずご確認ください。**

②財団ホームページから申込フォーム（外部サイト）にアクセスし、必要事項を入力してお申し込みください。

③見学実習受入同意書（**カラー**）、基本研修免除に必要な資格の免許証等の写し、一部科目修了証書の写しは**データで添付**してください。

④受講者推薦書（**原本**）は、**郵送で提出**してください。

⑤現在の氏名と添付書類の氏名が異なっている場合は、氏名の変更が確認できる書類を提出してください。

（例）運転免許証（裏書があるもの）両面の写し等：データを添付（郵送は不要）

戸籍抄本（原本）：**【簡易書留】**で提出（データの添付は不可）

⑥郵送での提出が必要な書類は、４月１５日（月曜日）までに**送付状と一緒に【簡易書留】**で送付してください（当日消印有効）。送付状の様式は財団ホームページ記載の「オンライン申込の注意事項」からダウンロードしてください。

⑦申込内容は各自「控え」をとっておいてください。

⑧**お申込み後の申込事項の確認・修正等については対応できません。**

郵送申込

受講申込書（表・裏面あり）に必要事項を記入の上、必要書類を添えて、**【簡易書留】**で送付してください（申込期限：４月１５日（月曜日）※消印有効）。

＜注意事項＞

①地域型保育を申し込む場合は**「様式あ」**、一時預かり事業を申し込む場合は**「様式い」**の申込書を使用してください。

※申込書は、本冊子に綴じ込まれている用紙を切り離す、若しくはコピーして使用してください。財団ホームページからダウンロードすることも可能です。

②希望クラスにオンラインクラスと集合クラスの両方の記入があった場合、「オンラインクラスでの申込」として受け付けますのでご注意ください。

③現在の氏名と添付書類の氏名が異なっている場合は、氏名の変更が確認できる書類を同封してください。

（例）運転免許証（裏書があるもの）両面の写し等、戸籍抄本（原本）

④申込内容は各自「控え」をとっておいてください。

⑤**お申込み後の申込事項の確認・修正等については対応できません。**

⑥受講申込書等は、**封筒１通（一人分の申込書等）ごとに【簡易書留】**で送付してください。その際に郵便局窓口にて受け取る［書留・特定記録郵便物等受領証（控え）］はお手元に保管してください（ファクシミリ及びメールによる申込みは不可）。

⑦料金不足の場合は受け付けできません。また、普通郵便で送られてきた場合の郵便事故等による未着・誤送については、当財団は一切の責任を負いかねます。

⑧本研修の申し込みに必要な書類以外の書類が同封されていた場合は破棄いたします。返却はできかねますのでご了承ください。

（３）郵送先

〒163-0719　東京都新宿区西新宿２丁目７番１号
新宿第一生命ビルディング１９階
公益財団法人東京都福祉保健財団
人材養成部　福祉人材養成室　子育て支援員担当

（４）その他

ア　申込内容の確認や書類の不備に関して電話連絡をする場合があります（子育て支援員担当電話番号：**０３－３３４４－８５３３**）。連絡が取れない場合は申込みが無効となることがあります。

イ　申込時にご提出いただいた書類（申込書、資格証の写し等）は返却できませんので、あらかじめご了承ください。

12　見学実習受入同意書（見学実習先をご自身で確保する方のみ）

ご自身で確保した事業所から、「見学実習受入同意書」に見学実習受入事業所の署名・代表者印をもらい、**ＰＤＦ形式（カラー）で添付**してください（郵送申込の場合は申込書に**原本を添付**）。

見学実習受入同意書の内容に不備がある場合には、【③ ご自身で確保した保育事業所】の選択は無効となりますので、ご注意ください。

※見学実習を行うことができる保育事業所には、いくつかの条件があります。詳細は４～５ページ『９　見学実習』の（１）、（２）をご確認ください。

13　受講免除（該当する方で希望者のみ）

（１）『基本研修』の受講免除

① 以下の各資格をお持ちの方は、『基本研修』の受講免除が可能です。免除を希望する場合は、申込書に免除の希望の有無を記入し、当該資格の免許証等の**写しを添付**してください。

免除理由	添付書類 オンライン申込…**ＰＤＦ形式で添付** 郵送申込み…**写しを添付**	免除の条件
a　保育士	保育士証	－
b　社会福祉士	社会福祉士登録証	－
c　幼稚園教諭　※	幼稚園教諭免許証	有効な免許証を有している
正看護師 ※	看護師免許証	小児病棟等の医療現場での勤務の場合は対象外
保健師　※	保健師免許証	

※c の資格は、現在、日々子どもと関わる業務（保育所、幼稚園、認定こども園、地域子育て支援拠点、放課後児童クラブ等保育の現場）に就いている方が対象

② これまでに東京都子育て支援員研修、他の道府県や区市町村で実施した子育て支援員研修の修了証書、基本研修修了証明書、基本研修全科目の修了が確認できる一部科目修了証書をお持ちの方は、『基本研修』の受講免除希望が可能です。免除を希望される方は、修了証書の写しをオンライン申込の場合は**ＰＤＦ形式で添付**、郵送申込の場合は申込書に**写しを添付**してください。

（２）一部科目の受講免除

令和５年度実施の東京都子育て支援員研修、他の道府県や区市町村で実施した子育て支援員研修において一部の科目を修了した方は、令和５年度内に修了した科目について受講免除が可能です。免除を希望される方は、東京都や他の道府県又は区市町村が発行した修了証書の写しをオンライン申込の場合は**ＰＤＦ形式で添付**、郵送申込の場合は申込書に**写しを添付**してください。添付が無い場合、一部科目の受講免除が受けられず、全ての科目の受講が必要となりますのでご注意ください。

14　受講者推薦書（該当者のみ）

以下の①又は②に該当する場合は、オンライン申込の場合であっても、受講者推薦書の送付が必要です。財団ホームページ記載の送付状と一緒に「受講者推薦書」の**原本を送付**してください（郵送申込の場合は申込書に**原本を添付**）。優先的に受講決定させていただきます。

①東京都内の区市町村が認可をする地域型保育（小規模保育、家庭的保育、事業所内保育）又は一時預かり事業に既に従事している又は従事することが決定している場合で、子育て支援員研修を受講しないと職員配置等の都合上事業が実施できない、あるいは事業が認可されないなど、受講が必要不可欠であると区市町村が認めた場合

「受講者推薦書（地域型保育・一時預かり事業）」にすでに従事している事業所又は従事することが決定している事業所の代表者印（社判）及び、事業所所在地（東京都内）の区市町村の子育て支援員研修主管課（又は事業認可主管課）の確認印（個人印は不可）をもらってください。**ど**

ちらか一方でも印が無い受講者推薦書は**無効**となりますので、ご注意ください。

②認証保育所にすでに従事しているもしくは従事することが決定している場合

「受講者推薦書（認証保育所）」に、既に従事している事業所又は従事することが決定している事業所の代表者印（社判）をもらってください。

※上記①、②に該当しない事業所（*企業主導型保育、認可外保育施設など*）からの推薦や、事業所の署名・代表者印（社判）、区市町村印がない等の不備がある受講者推薦書は無効です。

15　受講者の決定

受講申込者を財団より東京都に報告し、東京都が受講者を決定します。定員を超過した場合は抽選となり受講ができない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

※受講決定通知（特定記録郵便）は令和６年５月末までの郵送を予定しています。

※受講不決定の場合も通知（ハガキ）を送付いたします。

※受講者変更、受講申込者本人以外の方への受講決定内容・受講状況等の回答はできかねます。

16　修了証書の発行

研修修了者を財団より東京都に報告し、東京都が修了を認定したものに対し、都知事名の修了証書を財団が発行します。

「見学実習レポート様式」及び「見学実習出席確認書」を財団が受理してから修了証書がお手元に届くまで、概ね１か月半から２か月程度かかりますので、あらかじめご了承ください。

17　個人情報の取り扱い

受講申込書に記載された個人情報や提出された個人情報については、東京都個人情報保護に関する条例（平成２年 12 月 21 日条例第 113 号）に基づき適正な管理を行い、以下の目的で利用します。

・東京都、区市町村及び委託研修事業者が研修を実施するため

・東京都及び委託研修事業者が子育て支援員研修修了者名簿の管理を行うため

・区市町村が地域型保育や地域子ども・子育て支援事業等を実施するにあたり、研修修了者を把握するため

・東京都及び区市町村が、研修修了者に対し子育て支援員に資する情報提供のため

18　注意事項

（１）「子育て支援員※」とは本研修を修了し、保育や子育て支援分野で働く際に必要な知識や技能を習得したと認められる方のことです（**※国家資格ではありません**）。

（２）本研修は、あくまでも受講者を『子育て支援員』として認定するものであり、修了後の就業先を紹介及び保証するものではありません。

（３）区市町村によっては地域型保育事業等が行われていない場合がありますのでご確認ください。

（４）コースの種類（表紙裏面参照）によっては従事できる事業や内容が異なりますのでご留意ください。

（５）本コース申込み後に、地域子育て支援コース等の他コースを申し込むことは可能ですが、同

一研修日があるクラスを申し込むことはできません。

（６）既に修了している研修（同コース・同事業）を申し込むことはできません。

（７）申込書の記入内容が事実と異なる場合、受講及び修了の認定が取消となることがあります。

（８）本研修は「２　対象者」に該当する方を対象とし、**受講申込者本人による申込みのみを受け付けています。**所属事業所等が代理で申し込むことはできません。

（９）受講者が２０名に満たないクラスが生じた場合、他のクラスへの振替をお願いすることがあります（ただし、一時預かり事業を除く。）。

(10) 日程によっては、あらかじめ録画された講義を視聴したり、遠隔地での講義を中継する集合形式の研修になる場合があります。

(11) 障害のある方等、受講にあたり配慮等が必要な方は、申込みに際して事前にご相談ください。

(12) 本研修で使用する言語は日本語です。演習を行う際に、日本語での意見交換が難しい場合はご自身で通訳を手配してください。提出書類等についても日本語で作成してください。

19　感染予防対策等について

（１）東京都からの基本的な感染防止対策の協力依頼を受け、受講者の皆様に研修時のマスクの着用等のご協力をお願いいたします。詳細については、受講決定時にお知らせします。

（２）やむを得ず研修を中止又は延期とする場合は以下のホームページにてご案内をいたします。

URL：https://www.fukushizaidan.jp/111kosodateshien/

【財団 HP】

20　研修実施方法の変更について

令和６年度第２期（７月募集予定）以降、オンデマンド形式（録画視聴）と集合形式を組み合わせた研修実施方法に変更になる予定です。

第２期以降は集合形式のみのクラスは実施しませんので、集合形式のみのクラスを希望される方は、今回の第１期での受講をご検討ください。

21　（参考）オンライン形式における推奨環境について

（１）推奨するオペレーティングシステム（OS）等

パソコン
MacOS 10.10 以降を搭載の Mac OS X Windows 8（8.1）又はそれ以降 Ubuntu 12.04 又はそれ以降 Mint 17.1 又はそれ以降
タブレット・スマートフォン
iOS11.0 又はそれ以降 iPadOS 13 又はそれ以降 Android6.0x 又はそれ以降

※タブレット、スマートフォンでも視聴可能ですが、パソコンでの視聴を推奨します。

（２）推奨するブラウザ

- パソコン：Chrome、Firefox、Edge、Safari の最新バージョンから２バージョン以内
- タブレット、スマートフォン：Safari 5 以降、Webkit、Chrome

（３）プロセッサ及び RAM の要件

	最小	推奨
プロセッサ	シングルコア 1GHz 以上	デュアルコア 2GHz 以上 （i3/i5/i7 又は AMD 相当）
RAM	該当なし	4GB

（４）推奨される帯域幅

・3.8 Mbps / 3.0 Mbps（上り / 下り）

※配信速度・環境は、ご利用のパソコン又はタブレット、スマートフォン等の端末のスペックに大きく依存するため、必ず事前に動作確認をお願いします（推奨環境を満たしていても正常に動作しない場合があります。）。

※ご利用のパソコン等端末や通信環境のトラブル・不具合で受講できなかった場合、東京都及び財団は責任を負うことができませんので、あらかじめご了承ください。

別表１

子育て支援員研修カリキュラム【地域保育コース】

１．基本研修（全研修共通８時間）

科目名	ｵﾝﾗｲﾝｸﾗｽの研修方法	時間数	内容	目的
１.子供・子育てに関する制度や社会状況における子育て支援事業の役割を捉えるための科目				
子供・子育て家庭の現状	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分講義	＜子供・子育て家庭（対人援助を行う対象）に対する理解＞ ① 子供の育つ社会・環境 ② 子育て家庭の変容 ③ 子供の貧困及び子どもの非行についての理解	① 子育て家庭と家庭生活を取り巻く社会的状況について理解する。 ② 家庭の意義と多様な子育て家庭のニーズと子育て支援等の現状と課題について理解する。 ③ 子育て家庭への支援について理解する。 ④ 子供の貧困や非行などの背景の概要について理解する。
子供家庭福祉	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分講義	＜子育て支援制度の理解＞ ① 子供・子育て支援新制度の概要 ② 児童家庭福祉施策等の理解 ③ 児童家庭福祉に係る資源の理解	①児童家庭福祉施策・制度の概要（子供・子育て支援新制度の概要と子育て支援員が関わる事業の枠組みと位置付け等）について理解する。 ②児童福祉施設等と専門職の役割について理解する。 ③児童家庭福祉に関する地域資源の概要（地域人材確保を含む）について理解する。
２.支援の意味や役割を理解するための科目				
子供の発達	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分講義	＜子供・子育て家庭（対人援助を行う対象）に対する理解＞ ① 発達への理解 ② 胎児期から青年期までの発達 ③ 発達への援助 ④ 子供の遊び	① 子供の発達を捉える観点について理解する。 ② 子供の発達（「発達・成長の保障」、「情緒の安定」、「生命の保持」）の概要について理解する。 ③ 生涯発達の概要について理解する。 ④ 子供の発達に応じた援助の基礎について理解する。 ⑤ 「遊び」の意義と「遊び」の質について理解する。
保育の原理	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分講義	＜子育て支援（対人援助）を行うための援助原理の理解＞ ① 子供という存在の理解 ② 情緒の安定・生命の保持 ③ 健康の保持と安全管理	① 発達･成長過程に応じた保育の基礎について理解する。 ② 情緒の安定と生命の保持に係る保育の基礎について理解する。 ③ 子育て支援事業における安全対策や危機管理の必要性について発達との関連を踏まえて理解する。

対人援助の価値と倫理	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分 講義	＜子育て支援（対人援助）を行うための援助原理の理解＞ ① 利用者の尊厳の遵守と利用者主体 ② 子供の最善の利益 ③ 守秘義務・個人情報の保護と苦情解決の仕組み ④ 保護者・職場内・関係機関・地域の人々との連携・協力 ⑤ 子育て支援員の役割	① 対人援助の価値について理解する。 ② 子供の最善の利益について理解する。 ③ 対人援助の倫理について理解する ④ 保護者・関係者・関係機関との連携・協力の必要性について理解する。 ⑤ 子育て支援員の役割について理解する。
３.特別な支援を必要とする家庭を理解するための科目				
児童虐待と社会的養護	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分 講義	＜子育て支援（対人援助）を行うための援助原理の理解＞ ① 児童虐待と影響 ② 虐待の発見と通告 ③ 虐待を受けた子供に見られる行動 ④ 子供の権利を守る関わり ⑤ 社会的養護の現状	① 児童虐待（家庭における配偶者等からの暴力（DV）を含む）とその影響（虐待を受けた子供に見られる行動など）について理解する。 ② 虐待を受けたと思われる子供を発見した際の基本的な対応の概要について理解する。 ③ 子供の権利擁護の基本的視点について理解する。 ④ 社会的養護の意義と現状の概要について理解する。 ⑤ 社会的養護を必要とする子供や家庭の状況について理解する。
子供の障害	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分 講義	＜子育て支援（対人援助）を行うための援助原理の理解＞ ① 障害の特性についての理解 ② 障害の特性に応じた関わり方・専門機関との連携 ③ 障害児支援等の理解	① 障害特性の概要について理解する。 ② 障害児支援制度の概要について理解する。 ③ 障害特性に応じた関わり方や専門機関との連携の概要について理解する。 ④ 障害児支援等の現状について理解する。
４.総合演習				
総合演習	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分 演習	① 子供・子育て家庭の現状の考察・検討 ② 子供・子育て家庭への支援と役割の考察・検討 ③ 特別な支援を必要とする家庭の考察・検討 ④ 子育て支援員に求められる資質の考察・検討 ⑤ 専門研修の選択など今後の研修に向けての考察・検討	① 履修した内容についての振り返りを図るためのグループ討議。 ② 子育て支援員に求められる資質についての理解の確認。 ③ 履修した内容の総括と今後の課題認識の確認。 ※内容欄のテーマをもとに、研修効果の定着を図るために上記①～③のいずれかの振り返りを行う。

２．専門研修「地域保育コース」共通科目（１５時間）　※２分野共通

科目名	ｵﾝﾗｲﾝｸﾗｽの研修方法	時間数	内容	目的
１.地域保育の基礎を理解するための科目				
乳幼児の生活と遊び	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分講義	① 子供の発達と生活 ② 子供の遊びと環境 ③ 人との関係と保育のねらい・内容 ④ 子供の一日の生活の流れと役割	① 発達・成長過程に応じた子供の生活への援助方法について理解する。 ② 発達にふさわしい子供の遊びとその環境のあり方について理解する。 ③ 子供同士の関わりあいが、発達を促すことについて理解する。 ④ 子どもの一日の生活の流れの中での保育者（※）の役割について理解する。 ※【共通科目】において、保育者とは、家庭的保育補助者、保育従事者及び提供会員をいう。
乳幼児の発達と心理	ｵﾝﾗｲﾝ	90 分講義	① 発達とは ② 発達時期の区分と特徴 ③ ことばとコミュニケーション ④ 自分と他者 ⑤ 手のはたらきと探索 ⑥ 移動する力 ⑦ こころと行動の発達を支える保育者の役割	① ０歳から３歳くらいまでの乳幼児期の発達のポイントを学び、発達に応じた遊びやその安全性について理解する。 ② 子供の発達を支える保育者の役割について理解する。
乳幼児の食事と栄養	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分講義	① 離乳の進め方に関する最近の動向 ②栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ③ 食物アレルギー ④ 保育者が押さえる食育のポイント	① 離乳の進め方に関する最近の動向について理解する。 ② 幼児期の昼食作りに役立つ栄養バランスのポイント、食品衛生の基礎知識について理解する。 ③ 食物アレルギーについて理解する。 ④ 保育者がおさえる食育のポイントについて理解する。
小児保健Ⅰ	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分講義	① 乳幼児の健康観察のポイント ② 発育と発達について ③ 衛生管理・消毒について ④ 薬の預かりについて	① 保育を行う上で必要となる健康管理のポイントや疾病の予防と感染防止への対応、保育中の発症への対応などの基礎知識について理解する。 ② 現場に生かせる、より具体的な対応について理解する。
小児保健Ⅱ	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分講義	① 子供に多い症例とその対応 ② 子供に多い病気（SIDS 等を含む）とその対応 ※「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「保育所における感染症対策ガイドライン」を周知する。 ③ 事故予防と対応	① 子供に多い症状・病気を学び、その対応について理解する。 ② 小児に多い事故を学び、その予防と対応について理解する。 ③ 異物除去法、心肺蘇生法を学び、緊急時の対応について理解する。
心肺蘇生法	集合	180 分実技	① 心肺蘇生法、AED、異物除去法等	①乳幼児を対象とした救急救命が行えるように、その技術を身につける。

地域保育の環境整備	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分 講義	① 保育環境を整える前に ② 保育に必要な環境とは ③ 環境のチェックポイント	① 保育環境の整備に当たり、基本的な考え方と配慮事項について理解する。 ② 保育を行うために作られた場所ではないところを保育の場として利用する上での工夫や配慮について理解する。 ③ 保育に必要な設備・備品とその配置について、具体的事例およびチェックポイントを示し、自己点検を行えるようにする。
安全の確保とリスクマネジメント	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分 講義	① 子供の事故 ② 子供の事故の予防保育上の留意点 ③ 緊急時の連絡・対策・対応 ④ リスクマネジメントと賠償責任	① 保育環境上起こりうる危険について学び、事故を未然に防ぐための予防策や安全確保の留意点について理解する。 ② 万一事故が起こった場合の対応や報告について理解する。
保育者の職業倫理と配慮事項	集合	90 分 講義 演習	① 保育者の職業倫理 ② 保育者の自己管理 ③ 地域等との関係 ④ 保育所や様々な保育関係者との関係 ⑤ 行政との関係 ⑥ 地域型保育の保育者の役割の検討（演習）	① 保育者としての職業倫理について理解する。 ② 保育者の自己管理について理解する。 ③ 地域住民との関係づくりについて理解する。（家庭的保育における家庭的保育者の家族との関係にも留意する。） ④ 保育所や様々な保育関係者との関係づくり、行政との関係などについて理解する。 ⑤ 児童虐待が疑われた場合の保育者としての対応について理解する。
特別に配慮を要する子供への対応（0～2 歳児）	ｵﾝﾗｲﾝ	90 分 講義	① 気になる行動 ② 気になる行動をする子供の行動特徴 ③ 気になる行動への対応の考え方 ④ 気になる行動の原因とその対応 ⑤ 保育者の役割 ⑥ 遊びを通して子供の発達を促す方法	① ０～２歳の気になる行動をどのように考え、どう関わっていけばよいかを行動特徴の把握などを通して理解する。 ② 特別に配慮を要する子供への対応における保育者の役割について理解する。 ※発達の遅れが疑われる場合、保護者の思いを踏まえた上での対応の必要性について理解する。（専門機関との連携を含む。） ③ 遊びを通して、子供の発達を促す方法について理解する。
２. 研修を進める上で必要な科目				
グループ討議	集合	90 分 演習	① 討議の目的 ② 討議の原則 ③ 討議の効果 ④ 討議のすすめ方 ⑤ グループ討議（演習）	① 研修参加者が討議のテーマにそって話し合うための方法やマナーについて理解する。 ②テーマについて、自分の意見を述べたり、他の参加者の意見を聞く相互作用を通して、考えをまとめ、問題点を整理し、解決方法を検討する。 ③今後学びたい内容あるいは助言者に質問したいことなどを、グループ内で話し合う。 ④研修で学んだこと等についてグループ討議を行い、理解を深める。

３．専門研修「地域型保育」（６．５時間＋２日）

科目名	ｵﾝﾗｲﾝｸﾗｽの研修方法	時間数	内容	目的
地域型保育の概要	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分 講義	① 地域型保育の事業概要 ② 地域型保育の特徴 ③ 地域型保育のリスクを回避するための課題	① 地域型保育の各事業の概要や位置づけについて理解する。 ② 地域型保育の特徴を学び、保育所保育との共通点、相違点について理解する。 ③ 規模の小さい地域型保育の意義及びリスクについて学び、リスクを回避するための課題について理解する。（注）一時預かり事業の研修受講を促す。
地域型保育の保育内容	ｵﾝﾗｲﾝ	120 分 講義 演習	① 地域型保育における保育内容 ② 地域型保育の１日の流れ ③ 異年齢保育 ④ 新しく子どもを受け入れる際の留意点 ⑤ 地域の社会資源の活用 ⑥ 保育の計画と記録 ⑦ 保育の体制	① 地域型保育における基本的な１日の流れや保育内容について理解する。 ② 少人数の異年齢児を保育する際の方法、工夫、留意事項などについて理解する。 ③ 新しく子供を受け入れる際の留意点について理解する。 ④ 計画や記録の必要性を学び、子供の育ちの見通しをもって保育することの重要性について理解する。
地域型保育の運営	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分 講義	① 設備及び運営の基準の遵守 ② 情報提供 ③ 受託までの流れ ④ 地域型保育の運営上必要な記録と報告	① 設備及び運営の基準の内容について理解する。 ② 情報提供の方法、受託前の利用者との面接、記録や報告の管理などについて理解する。
地域型保育における保護者への対応	ｵﾝﾗｲﾝ	90 分 講義 演習	① 保護者との関わりと対応 ② 保護者への対応の基本 ③ 子育て支援における保護者への相談・助言の原則 ④ 保護者への対応 ～事例を通して考える～	① 保護者と協力して子供の発達を支えるとともに、保護者の子育てを支援する役割についての意義を学び、このために必要な知識と技術について理解する。 ② 地域型保育における保護者への対応において、保護者との信頼関係づくりや保護者への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを学び、事例検討などを通して考え、理解する。
見学実習オリエンテーション	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分 演習	① 見学実習の目的 ② 見学実習のポイントと配慮事項	① 見学実習を行うに当たって必要な配慮事項や見学のポイントについて理解する。 ② 見学実習でどのようなことを学びたいか、あらかじめ考える機会とする。
見学実習	集合	2 日 実習	① １日目：保育の１日の流れを見る ② ２日目：保育の記録・計画、受付等の書類や環境構成、保護者対応の実際等について学ぶ ※認可保育所での０～２歳児の保育に関する見学実習も可能とする。	① 地域型保育の現場に出向き、講義で学んだ環境整備や保育内容、安全確保など、実際に見学・観察を通して理解する。 ② 保育に取り組むに際して、具体的に参考になることについて理解する機会とする。（家庭的保育は、家庭的保育者個人の自宅であり、異なる地域の環境の中でそれぞれ独自の工夫をして、保育を展開していることに留意する。）

４．専門研修「一時預かり事業」（６．５時間＋２日）

科目名	ｵﾝﾗｲﾝｸﾗｽの研修方法	時間数	内容	目的
一時預かり事業の概要	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分 講義	①一時預かり事業とは ②一時預かり事業の意義 ③一時預かり事業の特徴 ④一時預かり事業従事者の基本姿勢	①一時預かり事業の子育て支援としての意義、継続的な保育との相違について理解する。 ②一時預かり事業の特徴を学び、従事者として、子供や保護者との関わり方における基本姿勢について理解する。
一時預かり事業の保育内容	ｵﾝﾗｲﾝ	120 分 講義 演習	①初めて会う子供との関係づくり ②一人ひとりの発達に応じた生活・遊びの援助 ③子供が安心して過ごせる環境づくり	①初めて会う子供との信頼関係を形成する具体的な関わり方について理解する。 ②一時預かり事業は子供の家庭生活の延長にあるため、一人ひとりの状態に対応し、子供が安心して過ごせるようにすることについて理解する。 ③子供の不安を安心に変える具体的な関わり方について理解する。
一時預かり事業の運営	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分 講義	①一時預かり事業の業務の流れ ②情報提供、受付、登録 ③記録、保護者への報告 ④職場倫理・チームワーク、職員間の共通理解	①一時預かり事業の業務の流れについて理解する。 ②記録や保護者への報告の記載の仕方、保護者のプライバシーの遵守、職員間の連携の必要性について理解する。
一時預かり事業における保護者への対応	ｵﾝﾗｲﾝ	90 分 講義 演習	①保護者との関わりと対応 ②保護者への対応の基本 ③子育て支援における保護者への相談・助言の原則 ④保護者への対応 ～事例を通して考える～	①保護者と協力して子供の発達を支えるとともに、保護者の子育てを支援する役割についての意義を学び、このために必要な知識と技術について理解する。 ②一時預かり事業における保護者への対応において、信頼関係づくりや保護者への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを学び、事例検討などを通して考え、理解する。
見学実習オリエンテーション	ｵﾝﾗｲﾝ	60 分 演習	①見学実習の目的 ②見学実習のポイントと配慮事項	①見学実習を行うに当たって必要な配慮事項や見学のポイントについて理解する。 ②見学実習でどのようなことを学びたいか、あらかじめ考える機会とする。
見学実習	集合	2 日 実習	①１日目：保育の１日の流れを見る ②２日目：保育の記録・計画、受付等の書類や環境構成、保護者対応の実際等について学ぶ ※認可保育所での０～２歳児の保育に関する見学実習も可能とする。	①一時預かり事業の現場に出向き、講義で学んだ環境整備や保育内容、安全確保など、実際に見学・観察を通して理解する。 ②保育に取り組むに際して、具体的に参考になることについて理解する機会とする。

別表2

子育て支援員研修日程【地域保育コース】

1　オンラインクラス日程

オンラインクラスの６日目及び実技（心肺蘇生法）は集合形式で実施します。

◆地域型保育　オンラインクラス（13クラス）：29.5時間（7日）＋見学実習２日　　各クラス定員：80名程度

	クラス	基本研修（※1）			専門研修（※1）				
		1日目（※2） 9:30～ 17:00	2日目（※2） 9:30～ 17:00	3日目（※2） 9:00～ 18:00	4日目（※2） 9:00～ 18:00	5日目（※2） 9:00～ 18:00	6日目（※2） 9:00～ 18:00	実技（※2） （心肺蘇生法） 3時間	見学実習（※3） （下記期間のうち平日2日間）
地域型保育	保育24AC1	合同開催 6/18(火) オンライン	合同開催 6/25(火) オンライン	合同開催 7/4(木) オンライン	合同開催 7/12(金) オンライン	合同開催 7/19(金) オンライン	8/1(木) 新宿①	8/9(金) 新宿③	8/12(月) ～ 9/23(月)
	保育24AD1						8/6(火) 新宿①	8/9(金) 新宿③	8/12(月) ～ 9/23(月)
	保育24AE1			合同開催 7/10(水) オンライン			8/6(火) 新宿①	8/9(金) 新宿③	8/12(月) ～ 9/23(月)
	保育24AF1						8/7(水) 新宿②	8/26(月) 新宿③	9/2(月) ～ 10/14(月)
	保育24AG1	合同開催 7/1(月) オンライン	合同開催 7/8(月) オンライン		合同開催 7/29(月) オンライン	合同開催 8/5(月) オンライン	8/7(水) 新宿②	8/27(火) 新宿③	9/2(月) ～ 10/14(月)
	保育24AJ1			合同開催 7/16(火) オンライン			8/19(月) 新宿①	8/27(火) 新宿③	9/2(月) ～ 10/14(月)
	保育24AK1						8/19(月) 新宿①	8/27(火) 新宿③	9/2(月) ～ 10/14(月)
	保育24AL1			合同開催 7/22(月) オンライン			8/29(木) 新宿①	8/26(月) 新宿③	9/2(月) ～ 10/14(月)
	保育24AM1						8/29(木) 新宿①	8/26(月) 新宿③	9/2(月) ～ 10/14(月)
	保育24AN1 （※5）	合同開催 7/15(月) オンライン	合同開催 7/21(日) オンライン	合同開催 8/4(日) オンライン	合同開催 8/24(土) オンライン	合同開催 8/25(日) オンライン	8/31(土) 新宿①	9/7(土) 新宿①	9/10(火) ～ 10/22(火)
	保育24AR1 （※5）						8/31(土) 新宿①	9/7(土) 新宿①	9/10(火) ～ 10/22(火)
	保育24AU1 （※5）			合同開催 8/17(土) オンライン			9/3(火) 新宿①	9/8(日) 新宿①	9/10(火) ～ 10/22(火)
	保育24AW1 （※5）						9/3(火) 新宿①	9/8(日) 新宿①	9/10(火) ～ 10/22(火)

◆一時預かり事業　オンラインクラス（1クラス）：29.5時間（7日）＋見学実習２日　　クラス定員：50名程度

	クラス	基本研修（※1）			専門研修（※1）				
		1日目（※2） 9:30～ 17:00	2日目（※2） 9:30～ 17:00	3日目（※2） 9:00～ 18:00	4日目（※2） 9:00～ 18:00	5日目（※2） 9:00～ 18:00	6日目（※2） 9:00～ 18:00	実技（※2） （心肺蘇生法） 3時間	見学実習（※3） （下記期間のうち平日2日間）
一時預かり	一時24SC1	6/18(火) オンライン	6/25(火) オンライン	6/28(金) オンライン	7/12(金) オンライン	7/19(金) オンライン	8/1(木) 新宿①	7/26(金) 新宿③	8/12(月) ～ 9/23(月)

※1 基本研修修了後、専門研修に進むことができます。

※2 研修時間は目安です。研修時間と会場案内の詳細は、受講決定の際にお知らせいたします。
　また、会場が変更となる場合がありますのでご了承ください。

※3 区市町村が指定する受入先で見学実習を行う場合は、指定された日程での実習となります。
　ご自身で実習先を確保した場合は、受入事業所と実習日を相談してください。

※4 第2期以降については、オンデマンド（録画視聴）形式と集合形式を組み合わせて実施する予定です。

※5 土日を含むクラスです。

【会場詳細】
新宿①　：公益財団法人東京都福祉保健財団　　新宿区西新宿2丁目7番1号
新宿②　：リファレンス西新宿大京ビル貸会議室　　東京都新宿区西新宿7丁目21番3号
新宿③　：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル　　渋谷区代々木3丁目25番地3号

２　集合クラス日程

全日程を集合形式で実施します。

◆地域型保育 集合クラス(3クラス)：29.5時間(6日)＋見学実習２日　　各クラス定員：80名程度

	クラス	基本研修(※1)		専門研修(※1)				
		1日目(※5) 9:30～17:00	2日目 (※5) 9:30～17:00	3日目(※5) 9:00～18:00	4日目(※5) 9:00～18:00	5日目 (※5) 9:00～18:00	実技(※5) (心肺蘇生法) 3時間	見学実習(※6) (下記期間のうち平日2日間)
地域型保育	保育24AA1	6/14(金) 新宿④	6/20(木) 新宿④	7/2(火) 新宿④	7/11(木) 新宿④	7/17(水) 新宿①	7/26(金) 新宿③	7/29(月) ～ 9/9(月)
	保育24AB1	7/24(水) 新宿①	7/30(火) 新宿①	8/2(金) 新宿①	8/20(火) 新宿①	8/21(水) 新宿①	8/27(火) 新宿③	9/2(月) ～ 10/14(月)
	保育24TA1	6/17(月) 立川	6/26(水) 立川	7/5(金) 立川	7/9(火) 立川	7/18(木) 立川	7/26(金) 新宿③	7/29(月) ～ 9/9(月)

◆一時預かり事業　集合クラス(1クラス)：29.5時間(7日)＋見学実習２日　　クラス定員：若干名

	クラス	基本研修(※1)		専門研修(※1)					
		1日目(※5) 9:30～17:00	2日目(※5) 9:30～17:00	3日目 (※4)	4日目 (※4)	5日目(※5) 9:00～18:00	6日目(※5) 9:00～18:00	実技(※5) (心肺蘇生法) 3時間	見学実習(※6) (下記期間のうち平日2日間)
一時預かり	一時24SA1 (※3)	6/14(金) 新宿④	6/20(木) 新宿④	6/28(金) 新宿④	7/2(火) 新宿④	7/11(木) 新宿④	7/17(水) 新宿①	7/26(金) 新宿③	7/29(月) ～ 9/9(月)

※1 基本研修修了後、専門研修に進むことができます。

※2 第2期以降は、オンデマンド形式と集合形式を組み合わせて実施する予定です。第2期以降は、集合形式のみのクラスはありませんので、集合形式での受講を希望される方は第1期にお申込みください。

※3 一時24SA1クラスは講義及び実技（心肺蘇生法）を7日間に分けて保育24AA1又は一時24SC1クラスと合同で開催します。

※4 一時24SA1クラスの3日目及び4日目の時間は、受講決定時にお知らせいたします。

※5 研修時間は目安です。研修時間と会場案内の詳細は、受講決定の際にお知らせいたします。
また、会場が変更となる場合がありますのでご了承ください。

※6 区市町村が指定する受入先で見学実習を行う場合は、指定された日程での実習となります。
ご自身で実習先を確保した場合は、受入事業所と実習日を相談してください。

【会場詳細】

新宿①	：公益財団法人東京都福祉保健財団	新宿区西新宿2丁目7番1号
新宿③	：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	渋谷区代々木3丁目25番地3号
新宿④	：AP西新宿	新宿区西新宿7丁目2番4号
立川	：トヨタドライビングスクール東京	立川市羽衣町1丁目3番4号

－本研修（地域保育コース）の問い合わせ先－

公益財団法人東京都福祉保健財団
人材養成部 福祉人材養成室 子育て支援員担当
〒163－0719 東京都新宿区西新宿２丁目７番１号　新宿第一生命ビルディング１９階
電話:０３－３３４４－８５３３
月曜日～金曜日（祝日を除く）　８時４５分～１７時３０分

一般用問合せフォーム：https://qr.paps.jp/B10R

【一般用フォーム QR コード】